

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

事業を通じて21世紀の医療に貢献する企業となること

② 中長期の経営戦略

1. 海外事業の拡大

PhoenixBio USA Corporationを軸に北米を中心とした海外展開。PXBマウスのサービス提供を協力企業と推進

2. 認知度向上と共同研究

北米のコンソーシアムや国内外の大学・製薬企業との共同研究で新知見を蓄積。プロモーションに活用

3. 新分野への応用

非アルコール性肝炎や脂質代謝などの新分野でモデル開発を進める

4. 受託試験サービス拡大

自社施設での受託試験に加え、国内外の非臨床試験受託機関との連携を強化し製品販売を拡大

③ 対処すべき課題

① PXBマウス需要への対応

- ・ 核酸医薬・遺伝子治療分野での需要増加に対応した段階的な増産
- ・ AALAC International認証取得で動物福祉基準に準拠した設備と飼育管理
- ・ 顧客からの納品後情報を品質管理部門で一元管理しフィードバック

② in vitro分野への展開

- ・ 動物実験代替手段としてPXB-cellsやPXB-Shizuku等関連製品を市場投入
- ・ 生体模倣システム（MPS）等の新規デバイス・新技術の研究開発強化
- ・ USC連携で米国トレンドを見極め市場ニーズに合った製品開発

③ 新しい市場の取り込み

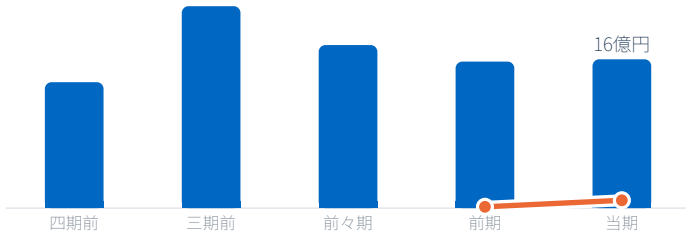
- ・ 抗体医薬・細胞治療・核酸医薬・遺伝子治療など次世代医薬品の評価ツール化
- ・ MASH（肝疾患）や脂質代謝を新市場重要分野に位置づけ、用途開発に取り組む
- ・ PXBマウスの基本特許を日米含む主要地域で取得し、新知財の権利化を推進

面接で使えるポイント

- ・ ヒト肝細胞キメラマウス（PXBマウス）という世界唯一の技術で新薬開発をサポート
- ・ 核酸医薬・遺伝子治療など次世代医薬品評価での需要増加に対応する成長分野
- ・ AALAC International認証取得で動物福祉と研究品質の両立を実現する企業姿勢

証券コード 6190

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
16億円営業利益率
5.3%財務健康度
36点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 35.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
570万円

サービス業内 287位/524社

平均年齢
48.8歳

サービス業内 25位/527社

平均勤続
14.6年

サービス業内 40位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

